

一般質問

令和2年度市長の施政方針について



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 加西市としてさまざまな課題がある中で、今年度重点的に取り組みたいことについて2点挙げて下さい。

答 (市長) 一つは加西病院のことです。今、議論となっているように、病床数を199床に減

らしていく方向性が示されていますが、神戸大学からは、医師を派遣するにあたって、さらに病床数を減らすよう求められています。今後市民の皆さんとかなり厳しい議論をしなければなりません、しっかりと方向性を決め、耐震化に伴って病院をどう建てるか決めていきたいと考えます。

もう一点は学校のあり方、小中学校のあり方についてです。学校のことは教育委員会がするイメージをもっておられる方が多いと思いますが、学校の配置については私の仕事ですので、しっかりと定

めていきたい。保護者の方々、また地域の方々としてしっかりと議論を行っていきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・ふるさと協創のまちづくりについて
- ・産業団地、鵜野飛行場跡地の開発について
- ・子育てについて
- ・雇用と経済について
- ・元気で安心して暮らせる加西について

財政運営について (病院経営と建て替え問題について)



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 加西病院の不良債務(5億4,900万円)を消さない、起債をし、病院の改築に着手できない。院長から、病院が自力で不良債務を解消するのは困難との発言があった。市長として、病院の不良債務をいっどう処理するつもりか、はっきり答えてもらいたい。

答 (市長) 市民の思いと一番対極にあるのが神戸大学です。医師派遣の支援は現実とかなりかけ離れており、交渉は困難を極めます。今秋には、病院建設基本計画ができるので、市民と丁寧にやり取りしていききたいと思います。病院が借金をしないと建て替えできません。借金できるようにするのが市の責任なので、そういう状況に対応していきます。

問 結局、病院の建て替え費用はいくらかかるのか。

答 結論的に未定です。当面は199床で63億円です。他

に、解体費として6～7億円が相場です。建設場所は、病院の西館が15年しか経っておらず、それを活用して、接続する建物を新たに建てるのが最有力です。兵庫県や神戸大学による播磨地域内での加西病院の位置づけ、他院との連携により、今後、加西病院がどれだけの規模でどんな医療を提供していくか決めて、総費用を精査します。

■その他の質問項目

- ・総合計画・地域創生戦略について

地域医療制度について



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 地域医療構想という、国が医療費抑制の立場から取り組んできた医療制度改革の中で、全国の公立病院が苦しんでいると思うが、その認識は。

答 今回、424の病院が経営改善を求められ、加西病院はリストに入っていないものの、直

近のデータではリストに載ってしるべきと思っています。北播磨2次医療圏は急性期のベッド数が多く、回復期は圧倒的に足りない状況で、ここに加西病院の生きる道があるのではと考えます。2025年の地域医療構想に向け、改革のスピードを速めるように厳しい指導があると思います。

問 病床数はレセプトの実績だけで算定され、経済格差や地域格差を反映しない内容とすることに議論がある。今回の感染症対応も考慮されていないが、地域医療を守る立場からの考えは。

答 加西病院では実態もあわせ、基本構想では、最新のデータと人口予測、県の疾病ごとの受療率、医学の進歩などによるベッド数の減少予測を踏まえ、どういうダウンサイジングにするのか、医療の質、地域のニーズを将来受療も含めて担保しながら、しっかりと検討したいと考えます。

意見 ダウンサイジングは議論の余地があると思うが、少なくとも公立病院として守るために、今後事業を興していく上で、不良債務等については行政からもしっかりとした財源確保を求めたい。